

熊本震災ボランティア活動

1 日 時	平成30年8月4日（土）5日（日）
2 場 所	熊本県 益城町 木山仮設団地・テクノ仮設団地・熊本市内
3 参加者	生徒29名
4 内 容	熊本震災から2年がたちますが、まだまだ復興には長い道のりです。復興の支援のために、生活科学科16名、普通科13名の生徒がボランティアに行きました。JRC部が行った募金活動と、生活科学科から合わせて15万円を益城町社会福祉協議会へ収めました。仮設団地で子どもや高齢者との交流、熊本市内の清掃活動、熊本震災語り部との交流。
5 感 想	地震があった当時の写真を見せていただき、家も街も壊れていて、地震の怖さが分かりました。先日行った募金を贈り、少しでも役にたつといいなと思います。 仮設団地では、子どもや高齢者の方と一緒に遊んだり、話をしたり交流することができました。仮設団地での生活は、まだまだ苦しいことがたくさんあるはずなのに、とても元気で優しくて私が元気付けられた場面がたくさんありました。 熊本城では、実際にまだ石垣が崩れているところを見て、少し心が痛くなりました。まだまだ被害が残っている熊本だけれど、県民の方々は、本当に元気で優しい方たちばかりで、だけど苦しんでいる方もまだいるので、もっと支援が必要だと思いました。
6 写 真	



結団式



木山仮設団地



木山仮設団地



木山仮設団地



木山仮設団地



木山仮設団地



募金進呈式



震災状況の研修



熊本市内清掃ボランティア



熊本市内清掃ボランティア



熊本市内清掃ボランティア



テクノ仮設団地



テクノ仮設団地



テクノ仮設団地



熊本城震災研修



熊本震災語り部による災害対応研修